

登録コード	MA751215	開講年度	2026			
授業科目名	病因・病態検査学特別研究(感染)			担当教員	松本 竹久	
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Clinical Laboratory Investigation			副担当		
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	不定期	対象専攻 / 学年
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	必須科目
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				臨床微生物学に関する研究を遂行する為の立案・計画をし、研究成果を論文にまとめ、プレゼンテーションすることができるようになる。	
(2)授業の概要	感染症の根幹をなす宿主・寄生体関係の概念に基づいた臨床実践に有益な研究を遂行します。 世界的拡散が懸念される薬剤耐性菌について、耐性機構の研究ならびに医療関連感染防止に関する研究を通じて分子生物学的アプローチを学びます。 本研究は担当教員の医療生命科学研究における実務経験を生かし指導を行います。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	医学系諸科学における学識と情報収集 能力・分析能力、研究技術を備えており、共同もしくは単独で、それぞれの分野における諸課題を解決できるようになる。 感染症におけるヒトと宿主の相互関係、診断・治療 に必要なとされる知識を深めることができるようになる。 感染症学 / 臨床微生物学に関するテーマにそって研究を行うことにより健康基礎科学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得できるようになる。 また、その成果を発表し、修士論文としてまとめることができるようになる。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	・ 臨牀に貢献できる研究を立案し、計画を立て効率よく遂行することができるようになる。 ・ 研究内容及び研究成果をわかりやすくプレゼンテーションすることができるようになる。					
(5)授業計画	研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 計画にそって実験および調査を実施する。 実験や調査結果をまとめ、その結果を評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって研究テーマを発展させる。 その成果を学会等において発表する。 教員は、討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。					
(6)授業の進め方	研究の進展状況について随時報告を受け、今後の進め方について討議します。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	研究テーマに則した論文を確認し、情報収集を行います。					
(8)成績評価の方法	研究に取り組む姿勢及び研究成果					
(9)成績評価の基準	研究の目的を理解し、研究計画を自ら組み立てられる。 正確かつ緻密な研究の遂行ができる。 研究成果を学会発表できる。 研究成果を学位論文としてまとめられる。 ～ の全てを達成すれば秀, ～ に加え ～ のうち二項目を達成すれば優, 一項目を達成すれば良, のみ達成すれば可, ～ が達成できなければ不可と評価します。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問,相談への対応	随時質問・相談を受け付け、大学院生とのdiscussionを通じて主体的な解決法の発見へと導く。 松本研究室メールアドレス: tmatsumoto@shinshu-u.ac.jp					
【テキスト,教材,参考書】	【テキスト】 特になし 【参考書・参考資料等】 各研究テーマおよび関連する研究領域の原著論文および総説					